

団体名 特定非営利活動法人茨城県防災士会

申請事業名 防災士のロープワーク研修

「ロープワークの必要性」

- ・ 災害現場や災害被災地の復旧活動等において、ロープの必要性が高まります。ロープは様々な結び方で幅広い用途に活用ができます。災害時の活動ではロープワークの経験がものをいいます。

「活動概要」

- ・ ロープに関する知識について講義を行います。(種類と強度、管理など) 使用目的に応じた結び方の実技を行います。
 - 救助活動時安全確保の結び ○ シート展張時の結び ○ トラック等の輸送結び ○ 資機材等の吊り上げ結び ○ 土嚢結び・・・など。

【活動場所(市町村)】

県北、県西、県央など茨城県全域の各エリアで防災士のロープワークの技能を高め、後に各地域で自主防災組織等の育成の推進を図ります。

【寄付金の主な用途】

12ミリ×100mのロープ

【企業との連携】

企業の皆さんも知っておくと役立つ結びがいろいろあります。町会等で行う震災訓練、水防訓練等の活動において防災士と連携活動も可能です。

団体名(所在地)	特定非営利活動法人茨城県防災士会(水戸市)
設立(活動開始)年	2006年2月
主な活動	・地域防災力向上ため各種講演と研修会 ・災害地の支援活動 ・防災、減災の活動する団体等の支援活動 ・防災士のスキルアップ研修